

コトバカっ!



コトバカ
言葉家……言葉を操る専門家。言葉にバカに詳しい人。言葉にバカみたいにこだわる人。

コトのほかバカ。コトによるとバカ。コピーライターの俗称。

上から読んでも相川藍、下から読んでも相川藍。コトバカの相川藍が言葉についてコトバカルっ!

方言かっけー

方言にあこがれる。いろんな方言を試してみたい。でも、その地方のネイティブしか許されない気がしていた。適当にマネするのは失礼だし、使いこなすには訓練が必要だし。日本語だけに、間違えると恥ずかしい。九条ネギを「キユウジョウネギ」と読んでしまったのに「くじょう」と京都の友人に正される私に、方言の壁は厚く立ちはだかる。

私は東京で生まれ、神奈川と兵庫にも任んだことがあるが、ありえない現象をエッセイで紹介するテレビ東京系の番組「ありえへん∞世界」が好き。先日、その全国版ともいえる「大方言。」(ぴあ)という本を見つけて欣喜した。語源ハンターのわぐりたかしさんが、各地で出会った方言をコレクションした一冊で、面白いという観点のみで選び、コト仕立てにしている。これを読んでも方言が使いこなせるようになって絶対ならぬ。とつても潔くて不真面目でとつきやすい本なのだ。

チャーミングな言葉をいくつかご紹介しよう。滋賀県の「じゅるい」なんてどう? 水溜まりの意味らしいが可愛すぎる。使う機会が少なそうなのがつくづく残念だ。その点、青森県の「とろける」は、片付けるの意味だから日常的に使えるはず。「片付けて!」と言つとキツイ感じになるけど「とろけて!」と言い替えば人間関係が変わりそう。大掃除のときに会社で「一緒にとろけちゃおうか」とかね(妄想)。

食べ物の方言もステキだ。和歌山の「にんにこ」(おにぎり)や宮城「ペロ」(麺類)は、今日からコンビニで使いたい。ちなみにカップ麺は「かっぺろ」だって。高知の「にんにん」(にんにこ)、岡山の「なちー」(懐かしい)、山口の「これんこばれんこ」(ぐずぐず)もいいね! なんと、私がよく使う言葉も載っていた。東京の「うぜえー」(うつつうしい)と神奈川の「かっけー」(かっこいい)である。調べてみたら、やべーもすげーもありえねーも方言だった。なあんだ、私、方言めっちゃ使ってるじゃん! (めっちゃ「も」じゃん「も」方言)

相川藍(言葉家)

丸の内文学賞(大賞)、朝日広告賞(最高賞)、インターネット書評コンテスト(最優秀賞)受賞。早稲田大学第一文学部卒。コピーライター。